

【記者発表資料】

準絶滅危惧種のハマボウを移植し工事に着手しました。

～橋梁補修工事でハマボウの保護を行いながらの施工～

延岡市街地の南側に位置する塩浜高架橋において、橋脚補強・落橋防止装置設置及び橋梁補修を行う工事を発注しました。

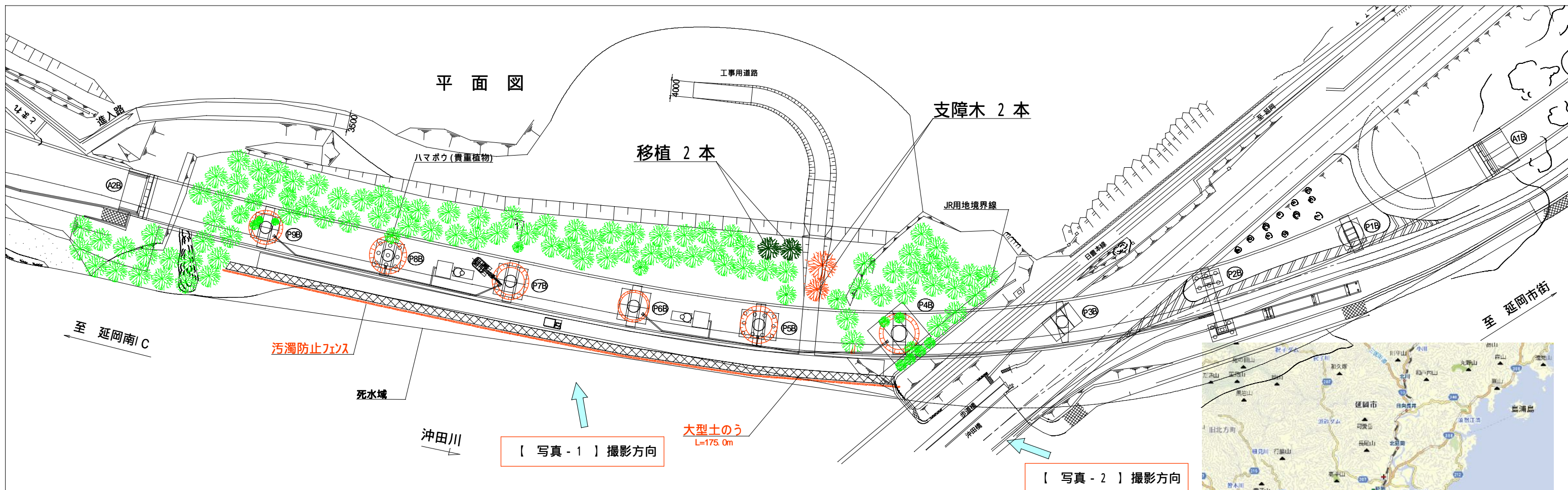
当施工範囲では準絶滅危惧種であるハマボウが確認されており、周辺地区でも協力してハマボウの保護・繁殖を行っているという情報を得たため、出来る限りハマボウへの影響を避けた形で工事用進入路を計画していましたが、工事着手に先立ち事前調査を行った結果、避ける事の出来ないハマボウの本数が確定したため、県北植物愛好会の代表者である塩満啓蔵氏に現地で移植方法等について指導をして頂き、2本のハマボウを工事の影響が無い位置に移植しました。

移植実施 平成21年11月 2日
移植規模 2本
位置図等・・・別添資料参照

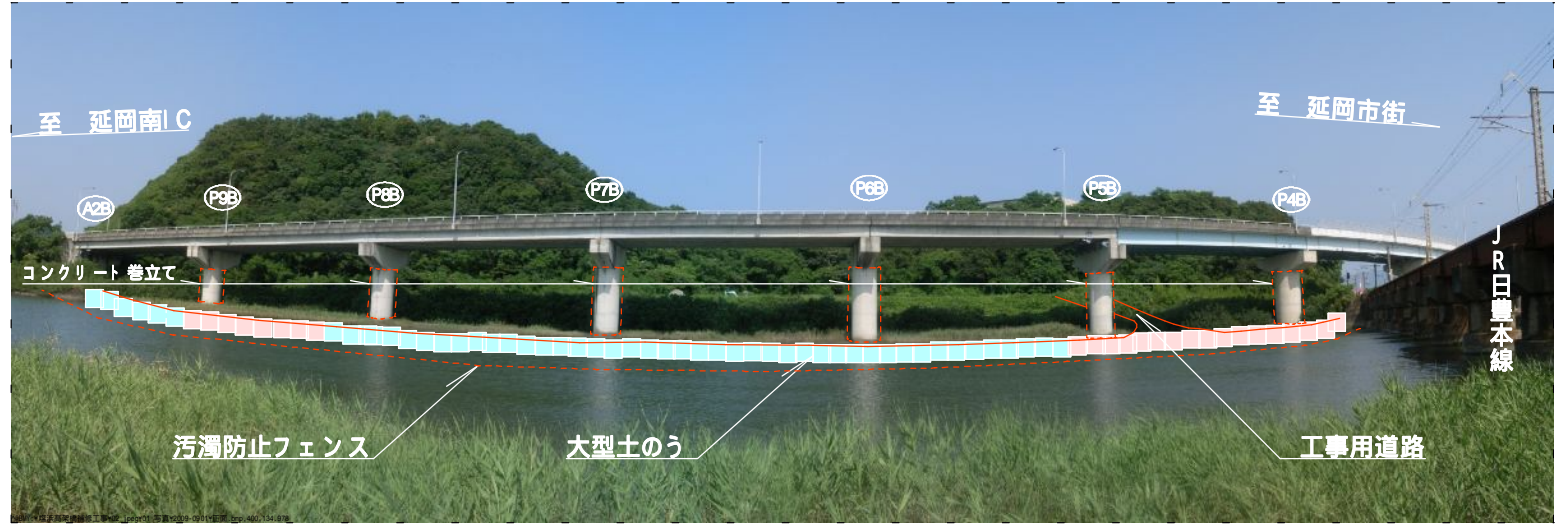
問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局
延岡河川国道事務所 道路副所長 川北 一明
延岡国道維持出張所長 古閑 靖啓

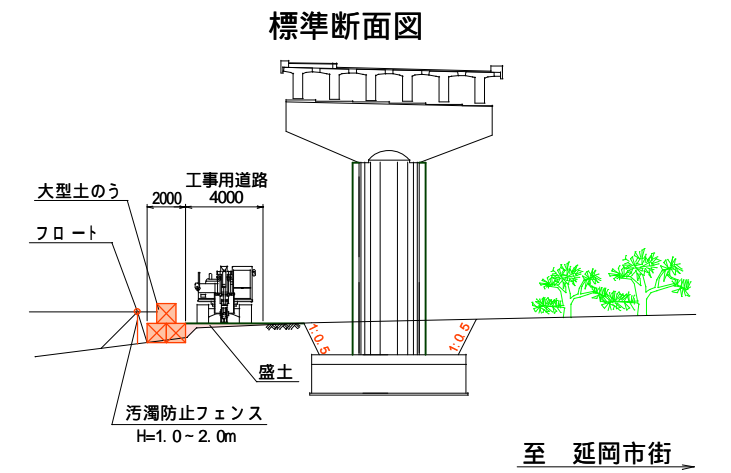
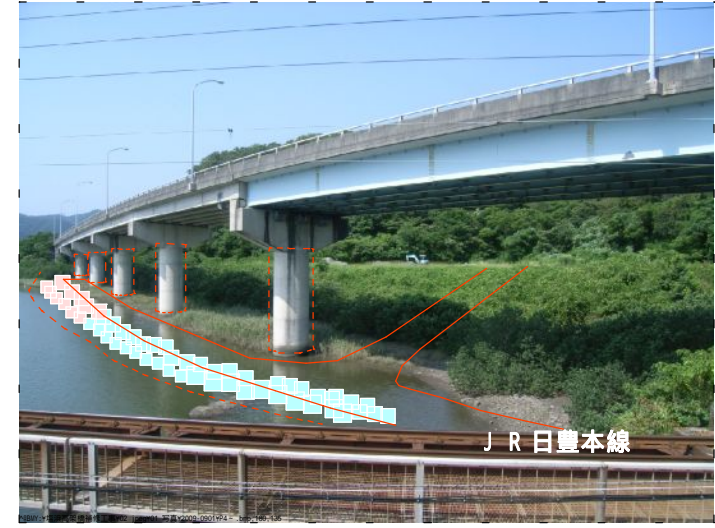
電話：0982-31-1155（代表）



【写真-1】



【写真-2】



側面図

